

東京都中央卸売市場 青果物取扱高13年連続日本一



農業産出額は8年連続、北海道に次ぎ全国第2位を誇る茨城県。東京都中央卸売市場の青果物取扱高では13年連続で日本一を維持し、首都圏中央連絡自動車道(圏央道)など物流網の向上に後押しされ、首都圏の食料基地の座を揺るぎないものになっている。北海道産の農畜産物も多くが茨城港(日立港区、常陸那珂港区、大洗港区)を経由して本州へ運ばれており、茨城が首都圏の台所を支えていると言っ

ても過言ではない。近年、筑波研究学園都市に集積する研究機関や大学、民間が中心となってICT(情報通信技術)やロボット技術を活用した革新的な「スマート農業」の研究開発が加速し、県内農家で実証実験が進む。また、人口減少で国内市場が縮小する中、海外に販路を求める県内産地の動きも活発化。新たな局面に突入しつつある茨城の農業の現状を追った。

首都圏の食生活を支える いばらき

当日出荷が強い

朝もや漂う早朝の水戸市公設地方卸売市場。本県沖で水揚げされたヒラメや北海道産ブリなど全国の浜から水揚げで届いた鮮魚が所狭しと並び、品定めする買い手たちが活気づく。同市場は水産、青果、花きを扱い、取扱高は全国の公設地方市場の中でトップを誇る。

卸売業、常洋水産の大谷忠専務は「北関東道の開通で栃木や群馬から買いに来る業者が増えた。圏央道など高速度道路の整備が進んだおかげで産地からの輸送がスムーズになり、コスト削減や時間

短縮になった」と話す。茨城が農業産出額でライバルの千葉県や鹿児島県を抑え、15年ぶりに全国2位を奪還したのは2008年。その後、東日本大震災や東京電力福島第1原発事故による風評被害などもあったが、8年連続で2位の座を守り抜いている。園芸・野菜が近年、産出額の5割強を占めるまでに成長し、「園芸に強い茨城」との評価が定着した。

県産地振興課は「茨城の農業の強みは当日出荷が可能であること。朝採った野菜を午後の便で首都圏の消費地に出荷できる。遠隔の産地にはできない。高速の整備で首都圏

高速整備で商圈広がる 物流向上が後押し

圏がさらに近くなったと解説する。

圏央道沿線には近年、カット野菜の工場が増加し、県内各地域を中心に独自の販路で業務用野菜農家が揃っている。同課は「高速の整備で農業の商圏は東京を越え、中京、関西へと広がっている。関西の市場では九州と茨城の野菜が競合するまでになった」と手応えを感じた。

東関東道水戸線の茨城空港北インターチェンジ(IC)・鉾田IC(間(延長約9km))が本年度中に開通する予定で、潮来ICまでの全線開通が待ち望まれている。鹿行地域の

先端技術も活用

今年10月、日本版の地球測位システム(GPS)の構築を目指す「準天頂衛星「みちびき4号機」が打ち上げられた。政府は2018年度に4機体制で本格運用を始める計画で、位置情報の誤差は数センチまで縮まると見込まれている。下書きの大規模農家、石島和美さんは「完全無人運転のトラクターが実用化できると期待を膨らませる。無人トラクターはつくば市の農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)や民間メーカー、北海道の大学などが長年にわたる研究と開発を進めており、クボタが5月に国内初の市販機を松江市で披露した。県農業経営課は「農家の担い手不足や高齢化が進む中、国や企業などが開発した先端技術をいち早く生産現場で活用できるような後押ししたい」としている。

「海の玄関口」 高まる利便性

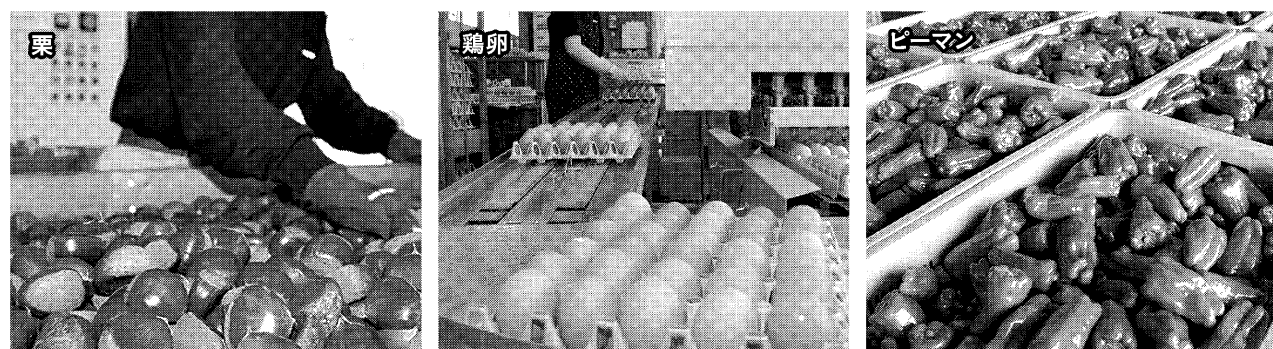
海外に新たな販路

茨城港(日立港区、常陸那珂港区、大洗港区)は日本の食料基地、北海道と本州を結ぶ「海の玄関口」だ。茨城港と苫小牧港、釧路港を直接行き来する定期航路は計画3便に上り、東京港の週7便を圧倒する。厚狭半島を回って東京湾に入るより、茨城に陸揚げして高速などで輸送した方が物流上はるかに効率的と話す。

県農林事務所の管内では昨年夏、農家や企業、行政などが参加し「ドローン農業活用研究会」が発足。農業・肥料の散布、種まき、水田の見回りなどが長年にわたる研究と開発を進めており、クボタが5月に国内初の市販機を松江市で披露した。県農業経営課は「農家の担い手不足や高齢化が進む中、国や企業などが開発した先端技術をいち早く生産現場で活用できるような後押ししたい」としている。



生産量日本一を誇る農産物

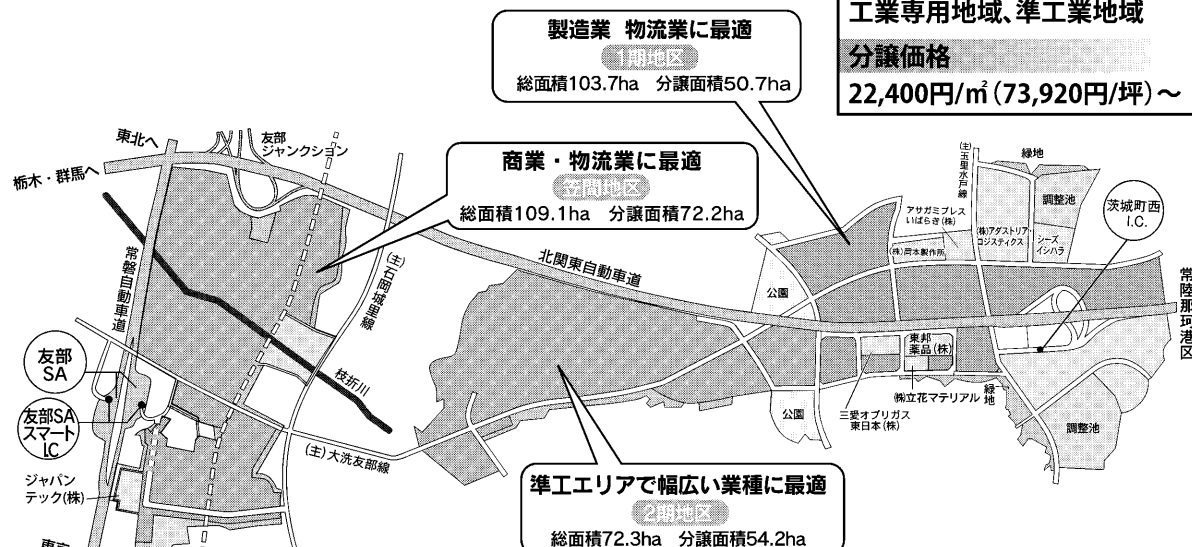


圏央道からも近く好立地のビジネスエリア

茨城中央工業団地

- 常磐道・北関東道に直結！
- 圏央道つくばJCTから25分！
- 茨城港常陸那珂港区まで15分！

- 県都水戸市に隣接。周辺労働人口30万人！
- 設備費を含めて最大5億円補助(笠間地区)
- 用地費に最大1億円補助(1期・2期地区)



茨城空港から便利でお得な空旅を!

直行チャーター便で行く

屋久島・種子島

出発日 2018年3月6日～8日、9日～11日、12日～14日

旅行代金 139,800円(2名～4名様/一室)

※1名様一室の場合、50,000円増し

発着空港 茨城空港・種子島空港

航空会社 FDA(フジドリームエアラインズ)

上記は告知広告です。詳しくはお問い合わせ下さい。(株)読売旅行水戸営業所 電話029-224-0700

茨城空港 茨城空港利用促進等協議会(茨城県企画部空港対策課内) 電話029-301-2761(受付時間:平日8:30～17:15) 茨城空港 茨城空港 茨城空港

駐車場は無料!

お申し込みお問い合わせ 茨城県 立地推進室 TEL.029-301-2036 立地推進東京本部 TEL.03-3243-0845 (公財) 茨城県開発公社 企業誘致課 TEL.029-301-7005 東京事務所 TEL.03-3243-0845